

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	長寿支援課	事業No.	98
事務事業名		介護予防拠点管理運営事業	会計	一般会計	
			事業区分	経常	実施区分 継続
			開始	H30	終了
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画	
	法令・例規等			飯田市介護予防拠点施設条例	
事業目的	対象	介護予防拠点施設			
	意図	適切な施設の管理運営を図る			

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・介護予防拠点施設「おめでとうサロン」について、社会福祉法人飯田市社会福祉協議会の指定管理により管理業務を行いました。 ・「おめでとうサロン」で介護予防事業（介護予防活動、認知症対策活動等）を行いました。		講師謝礼				0				
			介護予防拠点管理委託料				1,349				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	介護予防拠点施設利用人数	人	5,000	2,062							
3年度決算(千円)	予算額		1,399		特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		1,349								
	財源の状況	国庫支出金		0							
		県支出金		0							
		地方債		0							
		その他		0							
一般財源		1,349									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	10	11	2	1,399	1,349	介護予防拠点管理運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・はつらつ運動塾や、月2回の認知症カフェの会場として使用の予定でしたが、コロナ禍の影響により開催できない回がありました。 ・コロナ禍の継続が予想される中、介護予防の「拠点」施設として、効果的な利用方法や感染防止対策が課題としてあげられます。							
上記の課題解決のための有効策		・コロナ禍をふまえた効果的な利用方法等について検討が必要です。							
次年度に向けての取り組み		・指定管理者である飯田市社会福祉協議会と協議し、コロナ禍の状況等を注視しつつ、可能な限り介護予防に資する講座等の開催を計画します。							